

# 基本目標

## 読書を通じて豊かな心を培い、 未来に向かって広い視野を持った子どもを育む

### 基本方針

子どもが「心に残る一冊の本」との出会いにより読書の喜びを実感するとともに、読書を通じて未知の世界や考えを知り、様々な立場から物事を考える経験を積んでいくことが、主体的な読書習慣の形成には不可欠です。本計画では、主体的に幅広い本を選び取り、自ら考える力を身に付けることを「読書の質」の向上と捉え、読書の質的側面まで視野に入れた読書活動の推進に取り組みます。

#### 方針1 子どもの発達段階に応じた取組の推進

子どもが、生涯にわたる読書習慣を確立するために、一人一人の発達の段階に応じた読書活動となるよう、環境整備を進めるとともに、周囲の大人による適切な働きかけを支援します。

#### 方針2 家庭、地域、学校等を通じた社会全体での推進と連携・協力体制の充実

子どもの読書習慣の形成のため、家庭、地域、学校等がそれぞれの役割に応じた推進に取り組むとともに、相互に連携・協力し、社会全体で取組の推進に努める必要があります。特に、子どもの読書活動に大きな影響力を持つ保護者に対して連携した働きかけを行います。

#### 方針3 子どもの読書への関心を高める取組の促進

子どもは成長とともに興味・関心が広がり、相対的に読書への関心が低くなることがあります。そこで、周囲の大人による適時適切な本の紹介に加え、子ども同士が同世代の感性を生かして本をすすめるような取組を一層促進し、人との関わりを通じて子どもの読書への関心を高めます。

### 数値目標(指標)

#### <指標1>

1か月に1冊も本(まんが・雑誌を除く)を読まない子どもの割合(不読率)

	基準: H29	R5目標値
小学生	4.2%	2%以下
中学生	11.9%	10%以下
高校生	44.1%	30%以下

#### <指標2>

子どもの読書活動推進計画(計画期間を過ぎたものを除く)策定市町の割合

基準: H29	R5目標値
88% (25市町中22市町)	100%

#### <指標3>

「読書のきっかけ」に「友だちにすすめられたから」と回答する児童・生徒の割合

	基準: H29	R5目標値
小学生	7.6%	10%以上
中学生	7.0%	10%以上
高校生	6.9%	10%以上



# 子どもの発達の段階に応じた取組について

## 乳幼児期～本との出会い～

- ・周囲の大人に絵本や物語を読んでもらう「聞く読書」
- ・絵本に親しみ、想像する楽しみと出会う
- ・言葉や知識、世界を知る



地域

【赤ちゃんタイム】  
乳幼児が泣いたり声を出したりしても温かく見守ってもらい、乳幼児連れの保護者が気兼ねなく図書館を利用できるようにした時間のこと。

赤ちゃんタイム



家庭 地域

保護者など身近な大人に本を読んでもらうことが、本に親しむ第一歩となります

【ブックスタート】  
絵本を通して、赤ちゃんや保護者がふれ合う時間を作る取組。健診時の読み聞かせや、絵本のプレゼントなど。

ブックスタートでの読み聞かせ

学校



幼稚園での読書

## 小学生期～読書習慣の形成～

- ・絵本のほか、物語や様々なジャンルの本に親しむ
- ・「聞く読書」を経て、一人で本を読む力が育まれる
- ・読書の幅が広がり、自主的な読書習慣が身に付き始める

家庭 地域 学校

### 家読(うちどく)

読書を通じて、家族や身近な人とのコミュニケーションを図る取組です。  
(取組例)

- ・家族で本を読む時間を設ける
- ・自分が読んだ本を家族に紹介する
- ・本の感想を家族で話し合う など

様々な場所で本に親しむ機会を設けることで、読書への興味を広げます



地域

公民館での読み聞かせ

## 中学生期～読書の幅の広がり～

- ・楽しむ読書のほか、知識・情報習得のための読書を行う
- ・大人向けの本を読む力が身に付き始める



学校

学校での朝の読書

大人からの働きかけに加え、子ども同士の本のすすめ合いも読書への関心を高めます



学校

図書委員の活動

## 高校生期～主体的な読書へ～

- ・自我や価値観が確立し、主体的な読書を行う
- ・読書を通じて、将来や進路について考え、社会参画に向けた思考力・判断力を身に付ける



地域 学校

公共図書館でのビブリオバトル

【ビブリオバトル】 発表者がおすすめ本を紹介し、聴衆が「最も読みたくなった本」を投票で決める「知的書評合戦」